

当社のお客様本位の業務運営の実施に係る KPI について

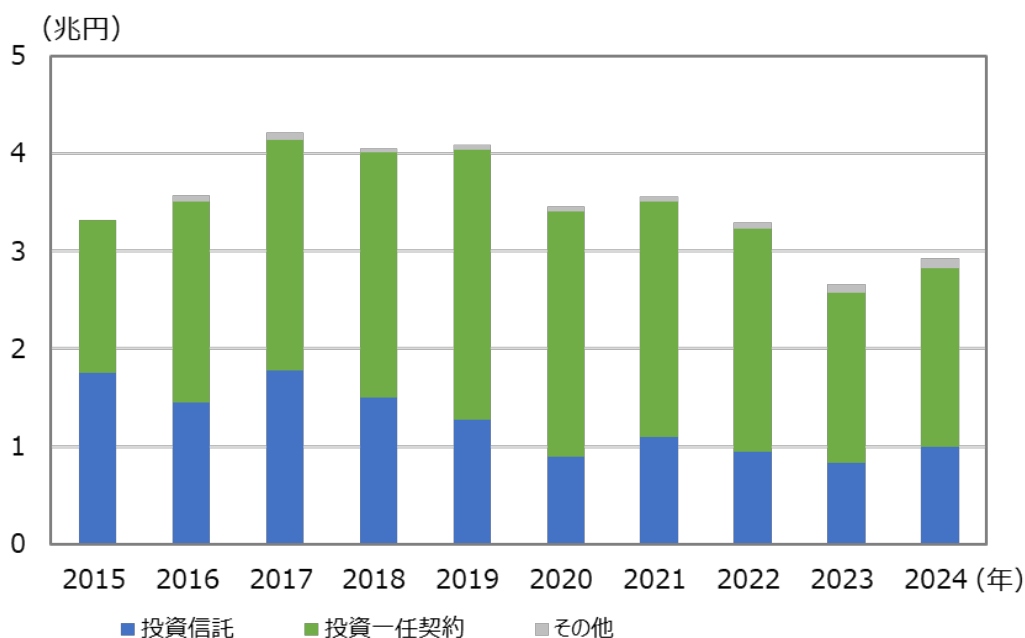
フランクリン・テンプレートン・ジャパン株式会社

2024年6月27日更新

お客様本位の業務運営に係る成果指数（KPI）を掲載いたします。今後も定期的に公表していくとともに、随時見直しを行います。

【日本のお客様にサービスを提供している運用戦略の残高】

日本のお客様にサービスを提供している運用戦略の残高の水準ならびにその安定的な成長は、多くのお客様からのご支持を反映するとともに、会社経営の健全性に直結するものであります。お客様から見て安心して運用を託すことのできる運用機関であり続けるために、重要な成果指数と考えます。

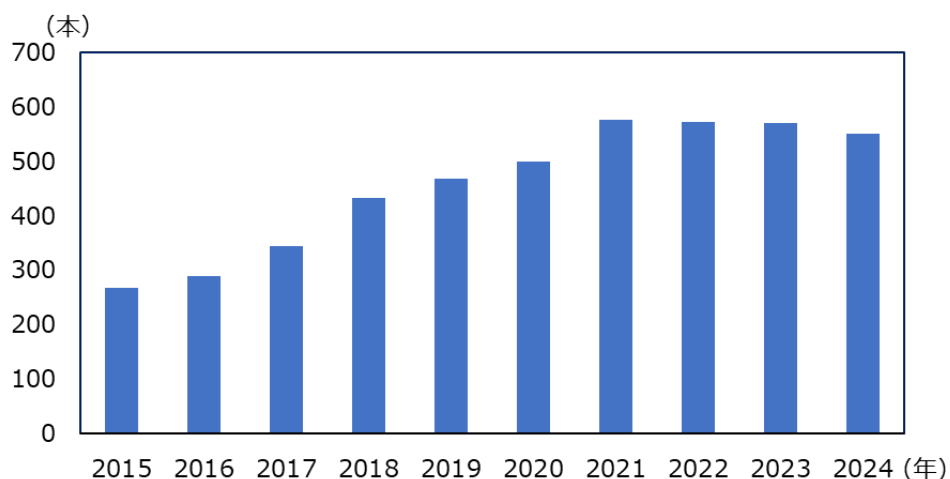


※ 各年3月末時点の残高、2015年～2020年については旧レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社の資産残高、2021年については旧レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社および旧フランクリン・テンプレートン・インベストメント株式会社の資産残高の合計

※ 「その他」は、投資信託および投資一任契約に含まれない当社が投資運用業に付随する業務としてサポートを行っている運用戦略の資産残高の合計。

【販社取扱商品累計数の総数】

当社運用商品の取扱数が拡大することは、当社がより多くの顧客ニーズにお応えしていることの指標であり、より多くの個人投資家の資産運用に貢献できることにつながります。また、取扱販売会社が広がることは、より多様な投資家に対して商品を提供することが可能となるため、それぞれの商品の安定的な資金フローにつながることから、既存受益者の利益に資すると考え、ひとつの成果指数として、販社取扱商品累計数をモニターしています。

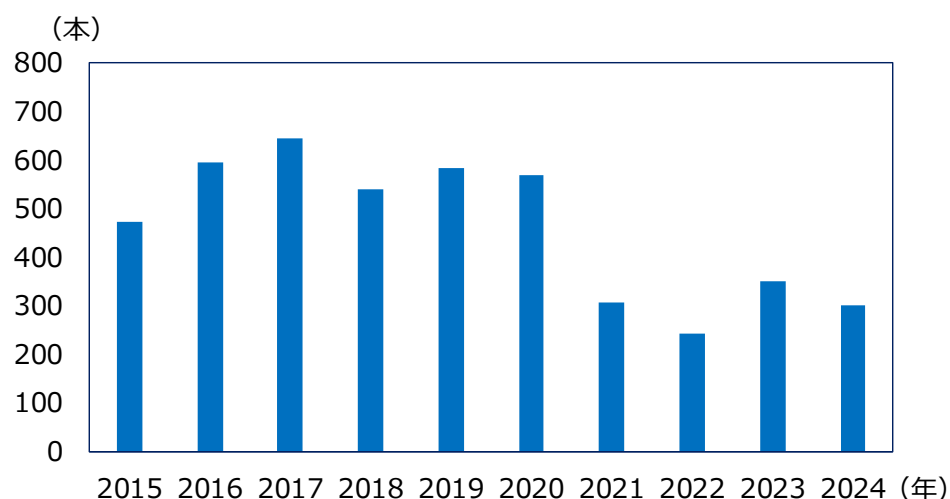


※ 販社取扱商品累計数は、各年3月末時点の各販売会社が取扱っている当社公募投資信託の累計数

※ 2015年～2020年については旧レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社の累積販社取扱商品数、2021年については旧レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社および旧フランクリン・テンプルトン・インベストメンツ株式会社の累積販社取扱商品数の合計

【情報提供資料等の作成数】

目論見書や運用報告書等の法定書類、販売用資料・月次報告書とは別に、適時、充実した商品・マーケット情報資料を持続的に提供することは、最終投資家の利益に資すると考え、ひとつの成果指数として、情報提供資料の作成数をモニターしています。

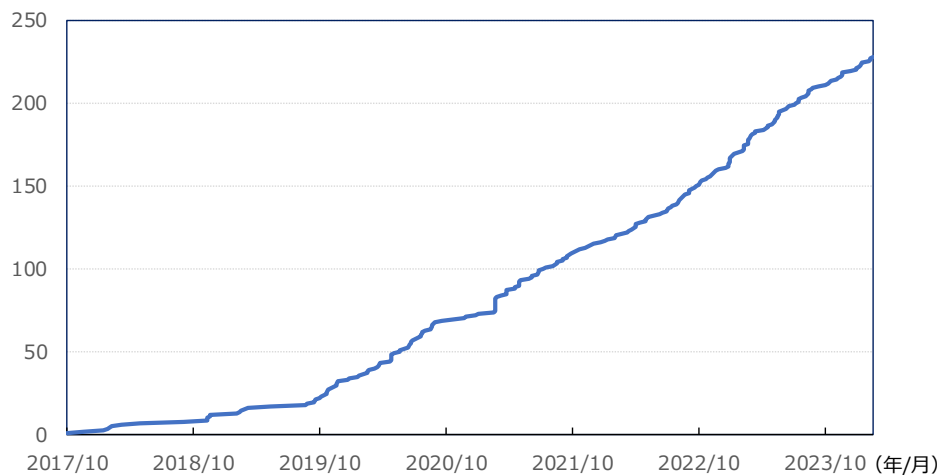


※ 各年は前年4月～当年3月までの期間

【投資家向け動画配信件数】

近年、運用や市場環境に関する情報を資料に加えて、映像や音声を活用した情報提供へのニーズが一層高まっています。お客様に分かりやすい情報提供に対する取り組みのひとつの成果指数として、動画の作成数をモニターしています。

(累計本数)



※ 各年は前年4月～当年3月までの期間